

令和8年度 第1回 西部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月28日（木） 午後3時から4時40分まで
- 2 開催場所 西部中学校 会議室
- 3 出席委員 藤谷昌宏 長野正弘 小楠達司 藤田典良 松本鮎子
早川大介
- 4 欠席委員 大渡三千子
- 5 学 校 鵜飼和生（校長） 永田行央（教頭） 甲斐康平（生徒指導主事）
南雲達也（CS担当教員） 宮崎幸枝（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 宮崎幸枝（CSディレクター）
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回の協議会の最後に推薦された藤谷委員から議長を務める旨の発言があり全員異議なくこれを承認した。

- 9 前回会議録の確認

前回会議録の確認が教頭からあった。

- 10 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について（確認）
- (2) 西部中学校いじめ防止基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己目標の決定
- (4) 特色ある学校づくりについて
 - ・ 地域人材の活用（2年生職場体験、職業講話）
- (5) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

- 11 会議記録

司会から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ レジリエンスと称揚の意味をわかりやすく教えてほしい。（早川委員）
- ・ レジリエンスとは、回復力、しなやかさ、我慢強さを意味する。称揚とは褒める事を意味する。（校長）
- ・ 西部中が学校目標に対して具体的に取り組んでいる事はあるのか。（藤田委員）
- ・ 子供達は、自分でルールを作るのが苦手。主体性を身に付ける授業作りをしている。（校長）

- ・ルールが敷かれていれば力を発揮できるのですね。(藤田委員)

(2) 西部中学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、甲斐生徒指導主事から、西部中学校いじめ防止基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・昨年度のいじめはどの程度解決しているのか。(藤谷委員)
- ・ほぼ解決しているが数件は継続して見守っている。(甲斐生徒指導主事)
- ・先生方は、いじめの環境をどこまで見ているのか。(小楠委員)
- ・学校の中のみならず、校外も全て見ている。(甲斐生徒指導主事)
- ・担当の先生は対応の仕方を勉強しているか。(小楠委員)
- ・勉強会もあるし、必ず複数の教員で対応している。(甲斐生徒指導主事)
- ・地域住民でやれることがあるのか考えるがむやみに声はかけられない。難しい世の中だ。(小楠委員)

(3) 学校運営協議会の自己目標の決定

長野会長から本年度の目標、「西中へのよさを生徒が実感し」、の前に「創立80周年」を迎えるという言葉を加えたいという発言があった。

(4) 特色ある学校づくりについて

議長の指示により、2年学年主任から、資料に基づき地域人材の活用(2年生職場体験、職業講話)についての説明があった。

- ・どこで働きたいか、親や子供にアンケートはとるのか。親の職場に行くのは大好評と聞く。(藤田委員)
- ・生徒にはどのような分野で体験したいかアンケートを取る。(2年学年主任)

(5) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭より加算分は夙あげの材料費とクリアファイルに使わせていただきたいと説明があった。

12 報告

(1) 学校支援コーディネーターより

藤谷委員より職業講話は7名のOBを含む12名の講師が決まっている。不登校傾向の生徒の為に通信制高校の話の聞けると嬉しい。職場体験は現在10か所受け入れ先が決まっている。コロナで中止になって一時落ち込んだが、数年かけて安定した受け入れ先ができていると発言があった。

13 その他連絡事項等

次回熟議内容の確認及び次回議長の選出があった。

教頭から、次回会議は、令和8年9月24日(木)午後3時から開催する旨の連絡があった。

次回協議会の議長の選出について意見を求めたところ、引き続き藤谷委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。